

平成28年度 会長指針

同友クラブ会長 笠倉 勉

「地域に必要とされる同友クラブへ」

本年度、同友クラブの19代会長を受けまして、歴史と伝統のあるクラブを更に発展させるように頑張ります。

いま、政府の経済再生政策、地方創生政策効果が功を奏し、徐々にではありますが、好ましい状況になってきていると思います。しかしながら、中小企業においては、価格の低下、人手不足等の問題を抱え苦戦しています。そんな中、経済人団体である同友クラブの会員企業の多くが、中小企業であります。会員各自の企業が元気で健全である事で、地元経済の活性化に貢献すると思います。

同友クラブの永年の事業であった「広域合併運動」も平成17年に「筑西市」「桜川市」が誕生し、地域住民を取り巻く環境も大きく変化しました。同友クラブもまた大きく変化していく中で、今年度は、「地域に必要とされる同友クラブ」を目指して事業をおこなっていききたいと思います。

「地域社会の発展」を願いながら、地域の文化・歴史の継承、そして、新しいまちづくりをしていきます。また、会員同士、同じ目的意識を持ち、会員同士の親睦を深めながら、事業をおこなってまいります。そして、クラブの様々な活動のPRを強化し、同友クラブのイメージを向上させていききたいと思います。

総務委員会には、総会と知事との合同懇談会を担当して頂きます。また、対外的なことにも対応して頂きたいと考えます。

青少年育成委員会には、30回記念大会が過ぎ、新たな「学童野球大会」の開催を企画して頂きます。また、未来を担う子供達の幸せに為に、豊かな環境作り、社会観の教育を支援できる事業をして頂きたく考えます。

会員交流委員会には、会員相互の親睦を深め、更には、コミュニケーションの充実を図り、人的ネットワークを強化される事業をして頂きたく考えます。

人間力向上委員会には、会員の能力の向上、地域のリーダーとなる為の研修、そして、地域発展、地域魅力の向上させる事業をして頂きたく考えます。

協働のまちづくり委員会には、まちづくりが出来る人づくりを継続して頂き、「まちおこし事業」を実践して頂きたく考えます。

広報委員会には、月報の発行と健康診断をお願いします。また、同友クラブの活動を、多くの方々に知って頂くように、PR活動を強化して頂きます。

去年は、「節目の年」となり、戦後70年、阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件から20年、日航機墜落事故から30年、第30回関東選抜しもだて学童野球大会を迎え、改めて歴史を振り返り、未来に目を向ける機会があったと思います。そして、今年、同友クラブも55年目を向かえ、新たな気持ちで「地域に必要とされる同友クラブ」を目指していききたいと思います。副会長と共に、委員会の活発な活動を支援し、魅力ある例会を企画し、同友クラブの今後の更なる発展と飛躍を目指していきますので会員の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。